

2013年7月30日

報道関係各位

バイク王 バイクライフ研究所

## バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』TOP10 を発表！ 『ホンダ・NC700X』が初の首位を獲得！

対象期間 2013年3月～5月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地:渋谷区広尾、所長:澤篤史）は、2013年3月～2013年5月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。今回は、発売より動向が注目されていた『ホンダ・NC700X』が前回まで3連覇を達成していた『ホンダ・CRF250L』を上回り、遂に首位を獲得しました。

### ■ ホンダの注目車種が上位独占!!

ニューミッドコンセプトシリーズから

『ホンダ・NC700X』が第1位!

そして、『ホンダ・NC700S』が第2位!

### ■ 惜しくも4連覇は逃したものの

『ホンダ・CRF250L』が堂々の第3位!



NC700X

2012.02.17

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください

### プレスリリースに関するお問い合わせ先

#### ■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当: 桐生、平見

TEL 03-6803-8855

E-mail bikelife\_lab@8190.co.jp

東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエア 18F

#### ■株式会社スパイスコミュニケーションズ

クロスコミュニケーション部

担当: 佐藤、三浦

TEL 03-6230-0536

E-mail bll\_pr@spice-japan.com

東京都港区麻布台 2-3-22 一乗寺ビル

# バイク王 バイクライ7研究所

## ■総合ランキング

順位	前回	メーカー・車種	リセール・プライス
1	2	ホンダ・NC700X	78.0pt
2	-	ホンダ・NC700S	76.8pt
3	1	ホンダ・CRF250L	76.6pt
4	7	カワサキ・W800	75.7pt
5	3	ホンダ・NC700X ABS	73.9pt
6	-	ホンダ・NC700S DCT	73.8pt
7	-	ヤマハ・VMAX	72.8pt
8	-	ホンダ・エイプ 100	69.2pt
9	-	ホンダ・PCX150	67.5pt
10	-	ホンダ・CB1100	65.8pt

※今回対象期間 2013 年 3 月～5 月、前回対象期間 2012 年 12 月～2013 年 2 月

今回は、前回まで 3 連覇を達成していた『ホンダ・CRF250L』に代わり、ニューミッドコンセプトシリーズから『ホンダ・NC700X』が、遂に首位を獲得しました。

『ホンダ・NC700X』は、同シリーズの国内第一弾として 2012 年 2 月に発売されたモデルで、そのデザイン性やコストパフォーマンスの高さから人気を博しています。発売当初から、『リセール・プライス』ランキングにおいてもその動向が注目されていましたが、今回、初の首位獲得となりました。そして第 5 位には、『ホンダ・NC700X ABS』もランクインしています。

第 2 位には、『ホンダ・NC700S』が、更に第 6 位にも『ホンダ・NC700S DCT』がランクインを果たし、TOP10 に同シリーズから 4 車種がランクインを果たす結果となりました。これは、ニューミッドコンセプトシリーズの人気の高さを示していると言えるでしょう。

第 3 位の『ホンダ・CRF250L』は、前回まで 3 連覇を果たした人気モデルです。今回、総合ランキングでは惜しくも 4 連覇を逃す形となってしまいましたが、排気量別ランキング（軽二輪）では 2 位に 9pt 以上の差を付け、依然人気の高さを表しています。

また、第 4 位の『カワサキ・W800』は、第 1 回ランキングから連続で TOP10 入りを果たしており、リセール・プライスランキングの常連となっています。伝統ある『W シリーズ』の美しいラインを引き継ぐ本モデルは、幅広い層の方からの支持を得ているのではないのでしょうか。

その他、『ヤマハ・VMAX』や『ホンダ・エイプ 100』といったロングセラーモデルが、初のランクインを果たしています。ライダーにとって待望のツーリングシーズン、夏本番が到来し、中古車市場も大いに賑わうことが期待されます。

今後も『リセール・プライス』ランキングに、ご注目ください。

## ■排気量別ランキング上位 5 位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・エイプ 100	69.2pt
2	ホンダ・スーパーカブ 110	60.4pt
3	カワサキ・D-TRACKER125	54.9pt
4	スズキ・アドレス V125S	53.2pt
5	ホンダ・ディオ 110	44.0pt

# バイク王 バイクライフ研究所

## ・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CRF250L	76.6pt
2	ホンダ・PCX150	67.5pt
3	スズキ・GSR250	60.3pt
4	ヤマハ・トリッカー	60.2pt
5	ホンダ・CBR250R ABS	60.0pt

## ・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・NINJA400R ABS	63.7pt
2	ホンダ・VT400S	61.1pt
3	カワサキ・NINJA400R	56.6pt
4	カワサキ・ER-4n	56.0pt
5	ホンダ・CB400 SUPER BOLD'OR	54.9pt

## ・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・NC700X	78.0pt
2	ホンダ・NC700S	76.8pt
3	カワサキ・W800	75.7pt
4	ホンダ・NC700X ABS	73.9pt
5	ホンダ・NC700S DCT	73.8pt

## ■『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときのプライス(=価格)を指します。

2013年7月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基にリセール・プライスをポイント化。ポイント数が高いほど、リセール・プライスが高いと想定できます。

本指標は、年間14万台の取り扱い台数を誇るバイク買取専門店『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

## ■算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2013年7月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2013年7月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

## 【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの総合プランナー』をビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

## バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所  
所長 澤篤史